みなみっ子

79号

令和８年 10 月 21 日（水）
南城市立大里南小学校
文責　校長　與儀　毅

学校教育目標　　自立　　協働　　創造

沖縄の方言は、みんなが普段使っている日本語とはひと味違って、とってもユニークで面白い特徴がたくさんあります。分かりやすく、その魅力を３つのポイントで紹介します。

全国共通語	ア	イ	ウ	エ	オ
沖縄方言	ア	イ	ウ	イ	ウ

１ 魔法みたいな言葉！「あいうえお」が「あいういう」に？

沖縄の方言では、声の出し方に面白いルールがあります。「e→i（え→い）」「o→u（お→う）」 へと変化

「え」が「い」に変わる！　雨（あめ/ame）→あみ/ami　声（こえ/koe）→くい/kui　酒（さけ/sake）→サキ（saki）

「お」が「う」に変わる！）　心（こころ/kokoro）→くくる/kukuru　男（おとこ/otoko）　ウトゥク（utuku）

２ しまくとぅば（島言葉）

沖縄県にあるすべての島々の言葉（方言）の総称です。「しま」＝島、あるいは自分たちの集落・地域 「くとぅば」＝言葉沖縄県はたくさんの島でできていて、島や地域によって言葉が大きく異なります。沖縄本島の言葉も、宮古島や石垣島、与那国島の言葉も、すべてまとめて「しまくとぅば」と呼びます。

３ ウチナーグチ（沖縄語）

主に沖縄本島（中南部を中心とした地域）で使われてきた言葉のことです。

「ウチナー」＝沖縄（特に沖縄本島）「グチ」＝口・言葉　つまり、沖縄本島の人たちが使っている言葉が「ウチナーグチ」です。

地域による言葉の違い（例）

同じ沖縄県内でも、「しまくとぅば」は地域によってこれくらい言葉が変わります。

地域	「ありがとう」の言い方
沖縄本島（ウチナーグチ）	にふぇーでーびる
宮古島（ミャークフツ）	たんでぃがぁたんでぃ
石垣島（スマムニ）	みーふぁいゆー
与那国島（ドゥナンムニ）	ふぅがらさ

このように、島ごとに独自の「～グチ」や「～フツ」「～ムニ」という名前の言葉があり、それらを全部あわせた共通の呼び方が「しまくとぅば」です。

※「ロングタイム ノー シー（Long time no see）」と「ミードゥーサヌ」は、どちらも「久しぶり！」という意味で使われるので、意味や使い方は同じです！ミードゥーサヌ」の言葉の成り立ち：「ミードゥーサヌ」という言葉を分解すると、とっても面白い工夫が隠れています。ミー＝目（め）ドゥーサヌ＝遠い（とおい）・珍しいつまり、直訳すると「目から遠ざかっていたね（しばらく見ていなかったね）」という意味になります。「しばらく会っていなかったから、目に映らなくて寂しかったよ！」という気持ちがこもった温かい言葉です。

